資料１６

# 平成30年度関東PM調査会議講演会について

【講演内容及び講師の希望】

(1) 関東地方における高濃度事象の発生条件に関する内容

・関東における高濃度事象の気象条件（大気環境学会誌53-4 吉門氏論文)
　日本気象協会　吉門　洋　　氏
・関東地方におけるPM2.5等の高濃度現象と気象条件との関係について
・越境汚染以外の発生要因に関する最新の知見について

(2) 近年のPM2.5濃度低下傾向の要因に関する内容

・近年、PM2.5環境基準の達成率が向上した要因について
・日本国内における近年のPM2.5濃度低下傾向の現状とその原因について

(3)その他

・ICP-MSによるPM2.5試料の分析における留意点
　環境省環境調査研修所 藤森　英治　氏
・大阪府内におけるPM2.5成分分析精度管理体制の整備
　大阪府立環境農林水産総合研究所 西村　理恵　氏
・発生源寄与解析における、解析手法の変遷や最新の動向について
・PM2.5の健康影響に関する最新の研究成果
・二次有機エアロゾルと光化学大気汚染との関連
・アンモニアの排出実態と排出抑制
・凝縮性ダストの実態や課題など
・PM2.5中の有機トレーサー成分について(特に都市汚染)
　名古屋市環境科学研究センター　池盛　文数　氏

【開催時期及び場所の予定】

時期：平成31年3月上旬
場所：長野市内

【共催及び後援等の予定】

共催：大気環境学会関東支部粒子状物質部会
後援：全国環境研協議会
対象：大気環境学会員及び全国環境研協議会員を含む大気環境行政関係者